

補償業務管理士検定試験(口述)における新型コロナウイルス感染症への対応について

令和3年1月実施の補償業務管理士検定試験(口述)を受験される方は、以下の点に留意してください。

1. 試験当日の体調確認と体調不良時のお願い

ご自宅で必ず検温をしていただき、新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる次のいずれかの事項に該当する方は、当日、受験を控えていただくようお願いいたします。

当日は会場施設入館時又は受付において、全ての受験者について非接触型体温計による検温を行います。会場に来られた場合でも、同事項に該当すると認めた場合には、受験中止をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。なお、これらを理由とした欠席者向けの再試験は予定しておりません。

受験予定者で受験されなかった方につきましては、申請により受験手数料を全額返還します。受験手数料返還手続きについては、口述試験終了後の2月上旬を目途にこのホームページでご案内します。

- ① 新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる体調異常(37.5度以上の発熱、咳、咽頭痛、強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、味覚・嗅覚障害等)がある方
- ② 新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない方
- ③ 濃厚接触者として健康観察の指示を受けている方
- ④ 海外からの帰国者等、政府又は自治体の要請により自宅待機を求められている方

2. 密集の回避

試験会場への入場に当たっては、密集を避けるため、受験者ごとに受付時間を指定します。受験票に記載の集合時間帯以外は受付できませんのでご注意ください。なお、受付時には貼り紙や試験監理員の指示に従って他の受験者との身体的距離を保つようにしてください。

控室及び口述試験室は、離隔距離をとった席の配置をしておりますが、受付時の配布資料をよくお読みいただき、着席時以外においても受験者間の離隔距離を保ち、控室での飲食や会話は控えてください。

3. マスクの着用・手指の消毒等

会場内では感染予防のため、マスクの持参・着用を必ずお願いいたします。試験監理員もマスク及びフェイスシールドを着用します。本人確認の写真照合時等、指示があったときはマスクを一時的にはずしてください。

試験会場控室にアルコール消毒液を設置しますので、入退室時には手指の消毒をお願いいたします。また、携帯用手指消毒用アルコールをお持ちの方は、持参しても差し支えありません。

マスクやティッシュペーパー等のゴミは、感染防止のため必ず持ち帰って、ご自宅で処分してください。

4. 試験室の換気

換気のため、施設の状態に応じ、控室及び試験室の窓やドアなどを開けることがあります。室温の変化に対応できるよう服装には注意してください。また、試験会場によっては、換気に伴い屋外からの音が入りやすくなる場合がありますので、ご承知おきください。

5. その他

感染症防止対策の徹底に関して、本留意事項を守っていただけない場合や、当日試験会場での試験監理員の指示に従わない場合等には、受験をお断りすることがありますので、ご注意ください。

感染防止の必要に応じて、受験者の連絡先等の個人情報が保健所等の公的機関へ提供され得ることをあらかじめご了承ください。

今後、試験実施について連絡事項がありましたら、当協会ホームページ「研修・試験のお知らせ」に掲載しますので、適宜、ご確認ください。